

脳の病理標本作製実習

第2回

- 内 容：1. **大切片ブロックの作成と薄切のコツ**
2. **クリューバー-バレラ染色**
3. **免疫染色の基礎と応用**
- (1) **アルツハイマー病：老人斑と神経原線維変化**
アミロイドβとリン酸化タウの
二重免疫染色による相互の関わり
- (2) **パーキンソン病の診断の為に**
- ・ **α-シヌクレイン**
 - ・ **ガリアス-ブランク染色**

アルツハイマー病の老人斑の
二重免疫染色：
茶色：リン酸化タウ、緑：アミロイドβ

日 時：2013年 9月12日(木)午後1時～午後5時
9月13日(金)午前9時～午後4時
(2日間連続で出席出来る方)

場 所：信州大学医学部神経難病学講座 分子病理学部門
長野県松本市旭 3-1-1 旭総合研究棟 7階

定 員：3名 参加費：5000円

指 導：浅川美果 (信州大学医学部神経難病学講座分子病理学部門)

お問合せ/お申込み：信州大学医学部神経難病学講座分子病理学部門

鈴木絵美、小柳 (おやなぎ) 清光

電話：0263-37-3059 ファクス：0263-37-3186